



©2005 石塚真一/小学館

第 194 号(令和2年7月 29 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ  
特別隊員

## 島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

長野県では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「入山注意報」を発表しています。

長野県 山岳情報サイト <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangaku/index.html>

### 長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

7月2週は0件、3週は1件、4週は5件の山岳遭難の発生がありました。

長野県内にかかる梅雨前線の影響により、4週は各山域の稜線を中心に、猛烈な風雨となりました。このような気象状況の中で行動すると、視界不良による道迷いのほか、転倒や低体温症など、遭難のリスクが大きくなります。雨は今後もしばらく続く見込みですので、天気や登山道の最新情報を必ず確認しましょう。

長野県警では、山岳パトロールで確認した登山道の状況などを、土日祝日を含めてツイートしていますので、最新情報の一つとして参考にしてください。また、長野県では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「長野県内入山注意報」と「登山者への5つのお願い」を発表しています。登山者の皆さんは、自身の体力や技量より、レベルを落とした山域を選び、感染防止対策にご協力をお願いします。

### 発生状況

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
7月19日	中央アルプス 熊沢岳	57	男	疲労	無事救助	単独で熊沢岳に入山中、疲労により日程どおりに下山不能
18日、中央アルプス千畳敷から入山した男性57歳と連絡が取れなくなる山岳遭難が発生しましたが、19日、自力で下山したことを確認しました。						
7月21日	後立山連峰 烏帽子岳	42	男	疲労	無事救助	単独でブナ立尾根を登山中、疲労により、行動不能
21日、北アルプス烏帽子岳ブナ立尾根において、男性42歳が疲労で行動できなくなる山岳遭難が発生し、大町警察署山岳遭難救助隊員が救助しました。						
7月21日	後立山連峰 鹿島槍ヶ岳	72	女	転倒	負傷	仲間と3人で鹿島槍ヶ岳付近を登山中、転倒して、負傷

19日から北アルプス鹿島槍ヶ岳に入山していた女性72歳が、登山中に転倒し、歩行困難となる山岳遭難が発生し、21日、県警へりで救助しました。



7月22日	後立山連峰 白馬岳	48	女	落石	負傷	単独で大雪山を下山中、落石により、負傷
22日、北アルプス白馬岳大雪渓において、女性48歳が落石を受けて負傷する山岳遭難が発生し、大町警察署山岳遭難救助隊員等が救助しました。						
7月22日	後立山連峰 白馬岳	50	女	疲労	無事救助	家族と2人で大雪渓を登山中、疲労により、行動不能
22日、北アルプス白馬岳大雪渓において、女性50歳が疲労により行動ができなくなる山岳遭難が発生し、大町警察署山岳遭難救助隊員等が救助しました。						
7月22日	金峰山	50	男	道迷い	無事救助	単独で登山中、道に迷い、行動不能
22日、金峰山において、男性50歳が道に迷い行動ができなくなる山岳遭難が発生し、23日、南佐久地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が救助しました。						

令和2年中の山岳遭難発生状況(令和2年1月1日～7月26日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和2年	69	11		28	35	74	39
平成31(令和元)年	128	11	3	69	62	145	83
前年同期比	-59	±0	-3	-41	-27	-71	-44
内)BC	-1	±0	±0	-1	-3	-4	-1
内)山菜キノコ採り	-5	±0	-1	+1	-8	-8	±0

### 山域別発生状況

区分		件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高		0.0%					0
	後立山	25	36.2%	3		13	12	28
	その他	9	13.0%	3		2	4	9
	計	34	49.3%	6	0	15	16	37
中央アルプス		4	5.8%	1			3	4
南アルプス		1	1.4%				1	1
ハヶ岳連峰		13	18.8%	3		8	2	13
その他の山岳		17	24.6%	1		5	13	19
計		69		11	0	28	35	74

### 態様別発生状況

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	17	24.6%	3		14		17
転倒	8	11.6%			8		8
病気	2	2.9%				2	2
道迷い	17	24.6%				19	19
落石	1	1.4%			1		1
雪崩	4	5.8%	1		3		4
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	8	11.6%	1			7	8
不明・他	12	17.4%	6		2	7	15
計	69		11	0	28	35	74

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率	
19歳以下					0	12 20.7%					0	5 31.3%	0	17人 23.0%	
20代			1	5	6					1	1				7
30代	1		4	1	6				2	2	4				10
40代	3		4	5	12	30			3	1	4	7	16	37人	
50代	1		7	10	18	51.7%	1		1	1	3	43.8%	21	50.0%	
60代	4		1	3	8	16			1		1	4	9	20人	
70以上	1		2	5	8	27.6%			2	1	3	25.0%	11	27.0%	
計	10	0	19	29	58		1	0	9	6	16		74		
比率	78.4%						21.6%								

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

\* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝

雄大な自然と  
頂へと続く道を守りたい。



# 信州の山小屋 応援プロジェクト

皆さまの  
温かいご支援を  
お待ちしております

—ふるさと納税で応援するクラウドファンディング—

期 間 令和2年7月1日～8月31日

目標金額 1000万円

寄付金

山小屋に配分

山岳の保全活動に活用

信州の豊かな山岳、  
登山を楽しめる環境を維持

登山の楽しみは十人十色。

なぜ、こんなにも山に魅かれるのでしょうか。見渡す限りの雄大で豊かな自然が織りなす景色でしょうか。登山道で行き交う人々や登山ガイドの皆さん、山小屋のスタッフさんとの触れ合いでしょうか。山頂で飲む一杯のコーヒーが格別。という人もいるかもしれません。

登山の  
楽しみを  
守るために

山は誰をも受入れますが、自然災害や心ない登山者のゴミの放棄などにより、自然や登山道は少しずつ崩れていきます。こういった崩壊が登山者を傷つけないよう、山岳の自然を守り、登山道の整備を最前線で担っているのが、山小屋です。現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、山小屋の経営環境は大変厳しいものとなっています。山小屋の経営を支援し、安全に登山できる環境を維持するため、皆様のご支援をお願いします。

ひとり、ひとりの想いを山の未来に。

※寄付についての詳細は、寄付応募サイト (<https://www.furusato-tax.jp/gcf/926>) をご覧ください。  
※目標金額に達しなかった場合も、集まった金額を各山小屋に均等に配分させていただきます。  
※今回の寄付に対してお礼の品はお送りしておりませんので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。



【寄付応募サイト】